

HEROES

CHAPTER 35

ヴィレッツジ

Part 1 of 4

“ハイチ人”ということしか知られていない男。
いったい彼の忠誠心は誰にむけられているのか？
眼鏡の男ノア・ベネットと長年パートナーを組んできた“ハイチ人”だが、
一時はクレアを助けるためにベネットをあざむき、その後は、クレアの
祖母の指示を受けて行動し、ベネットとクレアをも裏切っている。
“ハイチ人”はアンジェラ・ペトレリの命令に忠実に従っているだけなのか。
…それとも、もっと上の地位の人間から命令を受けているのか…？



…う…
オレ…

あ…

中には
笑うやつもいる。
知ってたか？



見ているとわかる。
最初のショックの後だ。

波が打ち寄せるように、
安らぎが満たしていく…



このパークマンだけじゃないだろ、
当然さ、誰だって重荷から
解放されたいものさ。

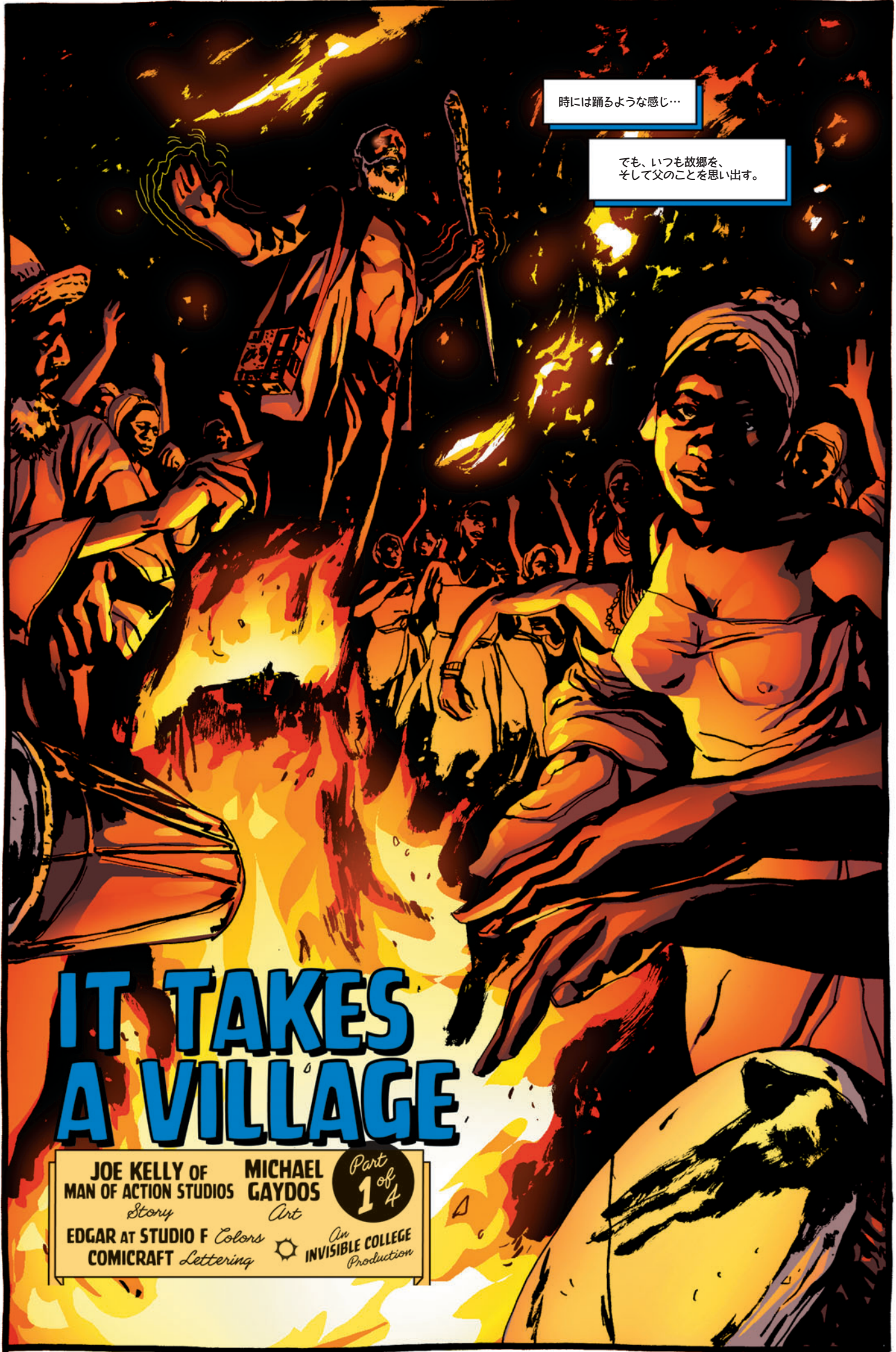
一度試してみたい。
どんな感じなのか…



冗談だよ。
…君が口を開くとは
思ってもないさ。

…春の雨の後に
花を摘むような…

墓穴の湿った土を
触っていて…
…突然、虫に指を
かまれるような…



時には踊るような感じ…

でも、いつも故郷を、
そして父のことを思い出す。

IT TAKES A VILLAGE

JOE KELLY OF
MAN OF ACTION STUDIOS

Story

MICHAEL
GAYDOS

Art

Part
of
1
4

EDGAR AT STUDIO F Colors
COMICRAFT Lettering



An
INVISIBLE COLLEGE
Production



デュヴァリエ族のせいで
ハイチは死にかけていた。

それでも、
ポルトープランスから
25マイル離れた
私の村は無事だった。



ロア(精霊)の真の信者にして下僕…
古くからの慣習に守られて暮らしているから
助かったのだと、人は言う。

村人の多くは神々の名を叫びながら死んでいった…
だがそれは、単なる信仰ではなかった。



父のせいだった。

ウンガン。司祭。
そして、父は
“特別” だった。



司祭の多くは生贄と祈りでロアから選ばれていたという…

…だがギョームは誰からも
敬愛されている
唯一のウンガンだった。



でも、私以上に彼を愛することは、
誰にもできなかった。
神であれ、人間であれ。



息子よ。
腹が減った。



彼はハイチの、
いやアメリカ大統領に
なるべきだ！

ずーっと、
僕の父さんの
話をしているつもり？
魚だつて逃げちゃうよ。

なんだよ、
ほかのウンガンと
違うんだぜ？



あのデブのモロなんか、
つば吐いて、震えて、
女に笑われてるだけじゃないか。
でも、おまえの父さんは…

本物の力がある。
だろ？ 特別だもん。

そう、
特別だ。



あ…
あれは
なんだろう？

“トントン・マケート”



トントン・マクート。
ブギーマンだ。

デュヴァリエの独立民兵で
専門は殺人、強姦、拷問。
人間の皮を身にまとった化け物。

もう1度聞く。
ギョームという
男はどこだ？

白状しろ！
さもなきゃ、
この豚の次はお前ら
2本足のブタの番だぞ！

トントン・マクートが父のような
指導者を狙うのはよくあることだった…



やめるんだ！
ギョーム、
あいつら…

私はレグバとオグンと
共に歩み、
サマラ、デルンと共に
横たわる者…

…だが、私の村は安全だった。
父がやつらを近寄せなかったから。



私は至福であり、恐怖だ。
お前たちは

…過ちをおかした。



俺…
ウツ…

GLARRRGH

ば…ばけ物…？
ウーツ。

至福と恐怖。
それが父の方法であり
才能だった。

